

3年ぶりの「神宮」出場を決め、歓声を上げる金沢学院大ナイン。小松市の弁慶スタジアム



硬式野球 3年ぶり神宮大会へ

2010年度北陸大学野球春季リーグ戦の最終日は5月28日、小松市の弁慶スタジアムで行われました。金沢学院大学チームは福井工大を2-0で完封勝ちして、勝ち点5（10勝2敗）で優勝し、3年ぶり3度目の全日本大学野球選手権（6月7〜13日・明治神宮野球場ほか）出場を決めました。金沢学院大学チームは8日の1回戦で、関西六大学野球連盟の覇者・大阪学院大学と神宮球場で対戦します。

北陸大学野球春季リーグ

優勝決定戦で福井工大下す

金沢学院大は初回1死から四球の中村が暴投で三進し、山東の右犠打で先制しました。四回には山東の左前打を足場に2死一、二塁とし、三盗を狙った二走山東が暴投で生還して追加点を奪いました。

先発・荒木は緩急自在の投球で福井工大打線に的を絞らせ、八回まで散発3安打で三塁を踏ませぬ力投ぶり。九回に1死一、三塁のピンチを招きましたが、後続を打ち取りました。

理事長に優勝報告

金沢学院大野球部ナインは5月31日、北國新聞社を訪れ、学校法人金沢学院理事長で石川県野球協会会長の飛田秀一社長に優勝と全日本大会出場を報告し、激励を受けました。



胴上げされる角尾監督



福井工大打線を完封した荒木

創部2年目でインカレ

創部2年目となる金沢学院大学女子ソフトボール部が5月22、23日に新潟市阿賀野川河川公園グラウンドで行われた第15回北信越大学男女選手権で奮闘し、全日本大学選手権に第2代表として初出場を決めました。

1回戦で富大に13-2の六回コールド勝ち、準決勝で信州大に12-0の五回コールド勝ちを収めました。決勝では松本大が、敗者復活の第2代表決定戦で福井大を14-1の五回コールドで下しました。全国大会は9月、富山市岩瀬スポーツ公園で開催されます。

俳句の解釈学が

金沢学院大学地域交流センターの第2回講座が5月28日、金沢市寺町のつば甚で開かれ、参加者が俳句の奥深い解釈や、季語を取り入れた詠み方を学びました。

軸俳句会（千葉県野田市）の秋尾敏主宰、金沢学院短大の蔵角利幸教授が講師を務めました。蔵角教授は加賀の芭蕉の弟子筋一門について解説しました。